土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　二級河川 瀬野川水系 畑賀川支川７隣 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

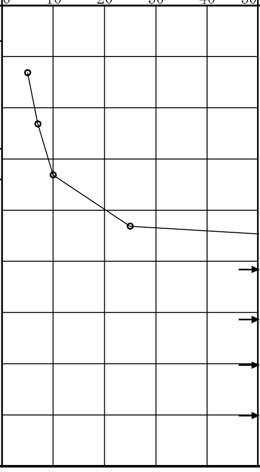
調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor. No. 5	調査位置	広島市安芸区畑賀町	北緯	34° 23′ 18.4501″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2018年 12月 12日 ～ 2018年 12月 14日	東経	132° 32′ 29.4723″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 127.76m	角度	上下 180° 90° 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	8.00m	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 40°	使用機種	試錐機 東邦 D0-D / エンジン ヤンマーTF-90M / ポンプ 東邦 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
0.00–5.00	122.76	5.00		シルト混じり砂		淡褐	rd3		新生代第四紀	0.00～5.00mは古期土石流堆積物。指圧で容易に潰れる程度に軟質なシルト混じり砂。 φ2～5cm大の花崗岩の角礫を5%程度以下含む。 花崗岩起源の土石流堆積物のため、石英粒子を多く含む。 0.00～1.00mは、木片を多く含み、やや粘性分が多い。	12/13 0.70 12/14 2.80 12/14 3.40
5.00–5.80	121.96	5.80		風化花崗岩 (DH)		淡褐			中生代白亜紀	5.00～8.00mは黒雲母花崗岩。粗粒で優白質である。 5.00～5.80mは、強い指圧で潰れやすいDH級の風化花崗岩。 割れ目沿いに粘土化が認められる強風化部が残存する。	
5.80–8.00	119.76	8.00		風化花崗岩 (CL)		淡褐～褐灰			中生代白亜紀	5.80～8.00mは、CL級の風化花崗岩。 傾斜70～80°の割れ目がやや顕著である。また、高角度の微細な割れ目沿いに黄白色の粘土鉱物を挟む。 7.80～8.00mは、割れ目は多いがやや硬質なCL級。	

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15–1.45	1	2	2	5/300		
7	2.15–2.45	2	3	2	7/300		
10	3.15–3.45	2	3	5	10/300		
25	4.15–4.45	5	8	12	25/300		
167	5.10–5.19	50/90			50/90	90	
300	6.10–6.15	50/50			50/50	50	
500	7.00–7.03	50/30			50/30	30	
	8.00–8.00	貫入不能			50/0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					12/13 (5.00m)
					12/14 (8.00m)